

令和5年度 第2回佐伯市障がい者計画等策定委員会
議事録

日 時：令和5年11月27日（月）15:00～15:45

場 所：佐伯市役所本庁舎 6階 大会議室

出席者：20名

欠席者：5名

1. 開会

2. 会長あいさつ

3. 議事

(1) 佐伯市障がい者計画・佐伯市障がい福祉計画・佐伯市障がい児福祉計画の素案についての意見聴取

(2) 今後の予定について

- ・12月18日 佐伯市議会教育民生常任委員会
- ・1月4日～2月5日 パブリックコメント
- ・2月19日（予定）第3回策定委員会
- ・3月下旬 第4回策定委員会

4. その他

5. 閉会

議事内容（要旨）

委 員：サービス見込について、生活介護、B型、共同生活援助、児童発達支援事業等で、現状維持の見込みになっているものが多いが、まだ数値の変わる余地はあるか。

事務局：現状並みの数値での推移を見込んでいるが、最終案では精査した数字を出したい。

委 員：80ページの下の「ICT活用等の促進」とあるが、具体的にどのようなことを想定されているのか。

事務局：スマホやタブレット端末等を使った情報のやりとりや各種手続きを想定している。

委 員：福祉施設入所者の方の地域移行については、難しい点も多いと思うが、具体例はあるか。

事務局：目標はあげているが、グループホームなどの受け皿不足もあり、実績があがっていない。精神長期入院者等も含め、目標をあげて努力していきたい。

委 員：利用者のアンケート調査によると、グループホームなどが不足しているという意見も多い。業者の動向もあるが、ぜひ数字の拡大を含めて検討をお願いしたい

事務局：介護者の高齢化等で今後需要が増えてくると思われる。検討していきたい。

委員：居宅介護も訪問系サービスも今後需要が見込まれているが、受け皿がないのと、利用者の数に見合うだけの人材育成ができていない。人材育成の部分で介護保険事業と一緒にできないか。

事務局：ヘルパー人材の不足が問題となっているが、現状ではそのような取り組みはできていない。

委員：介護保険事業所も同様の状況にあり、人材育成を一緒にできたらよいと思う。

委員：4ページの障がい者の雇用促進について、市内に障害者雇用の受け皿はあるか。

事務局：現状では、一般就労と福祉的就労という2分野があり、一般就労が難しい人については福祉的就労という形で、各事業所で福祉的なサポートを受けながら清掃等の仕事など能力応じた仕事ができるよう推進している。

委員：精神障害者にも対応した地域包括ケアシステムの構築について、協議の場の体制図みたいなものを提示してほしい。また、人材育成も伴って進めてもらうようお願いしたい。

事務局：自立支援協議会の下の部会で協議も兼ねて行っている。分かりやすい形で示したい。

委員：「就労選択支援」が令和7年10月から新たにサービスとなり、これを経ないと新たに就労系サービスは受けられなくなる。現在、就労アセスメントをする事業所が佐伯市にはないといった状況であるが、今後は、この就労選択支援事業所を増やしていかないと、サービスの低下につながっていく、そのあたりの対策についても触れる必要がある。

事務局：難しいところではあるが、今後良い形になるように協議を継続していく。

以上。